



公益社団法人

茨城県理学療法士会

Ibaraki Physical Therapy Association

シンボルマーク・ロゴタイプが新しくなりました！

副会長 大曾根賢一

茨城県理学療法士会は、平成 25 年 4 月 1 日をもって公益社団法人へ移行することができました。これに伴い公益性の高い団体として更なる飛躍の決意をこめてロゴタイプ、シンボルマークを一新する事になりました。

当初はシンボルマークの変更を筑波大学芸術専門学群の准教授である木村浩氏に相談していましたが、公益社団法人への移行を契機とした変更であったため、シンボルマークと団体名を合わせたデザインとしてロゴタイプも同時に作成を依頼しました。

デザインにあたってシンプルでわかりやすいイメージ、そして力強さと優しさをコンセプトに作成していただき、最終的な案に対して会員の皆様にパブリックコメントを募集し、公益法人移行後の平成 25 年第 1 回理事会において承認されました。

シンボルマークにおいては、清潔感とさわやかさを感じる「青色」をベースに、組織名の英語表記の頭文字を用い、「要（かなめ）」として●を置くことで平面構成としてのバランスの良さと力強さを表現していただきました。ロゴタイプでは、ゴシック体の固さと強さを和らげる字体を用いて、強さと優しさを表現していただきました。

このシンボルマークとロゴタイプは、本会から発信される発行物やホームページなど様々な場面で使われていく事になります。どうぞよろしく願いいたします。

目 次

1. シンボルマーク・ロゴタイプが新しくなりました！	1
2. 各種事業報告	
第 1～7 回研修会報告	2
第 48 回日本理学療法士学術大会報告	5
3. 各部局からのお知らせ	
渉外部より	7
庶務部より	7
地域医療福祉推進部より	8
公益事業推進部より	9
理学療法啓発部より	10
第 1 回理事会議事要旨	11
会長行動・事業等報告	11
4. 士会・協会主催研修会	13
5. 各種研修会・イベントの案内	18
6. 求人広告	24

2.各種事業報告

第1回研修会

竹内一未（いちほら病院）

期日：平成25年4月28日（日）

テーマ：一次救命処置と基本処置

講師：筑波メディカルセンター病院 峯岸忍先生

受講者数：254名（うち新入会員128名）

私たちが日々勤務する病院や施設では、いつ自分がアクシデントに遭遇してもおかしくない状況にあります。そのアクシデントに見舞われた際、果たして自分は迅速かつ適切な対応を取ることが出来るのかと考えたとき少々疑問が残ります。

今回の講習は『一次救命処置と基本処置』というテーマの下、救急時の救命の手順や感染予防について詳しく講演して頂きました。手洗いをはじめとする感染予防は日々の業務で必ず行い、重要になってくるものです。このような今春から働き始めた私たち新人職員にとって抜けやすい部分を改めて学ぶことが出来ました。

私も医療職に就く者として今一度職場での救急時の対応マニュアルを確認し、いつそのような場面に遭遇しても迅速に対応できるように日々心がけていきたいと思えます。



第2回研修会

中島和輝（いちほら病院）

期日：平成25年4月28日（日）

テーマ：リスクマネジメント

講師：水戸赤十字病院 金子哲先生

受講者数：197名（うち新入会員128名）

今回の講義では、「リスクマネジメント」というテーマで安全管理と感染予防についてご講演いただきました。

安全管理については、「人間はエラーを起こしやすい生き物である」という言葉が印象的であり、患者様もセラピストも同じ人間で、エラーを起こしやすいため、セラピストは細心の注意を払って理学療法を行う必要があると強く感じました。安全・安心な理学療法を提供するためには、医療者としての自覚や緊張感、指差し呼称での安全確認、コミュニケーションスキルの向上、危険の予知・予測等が大切であると学びました。

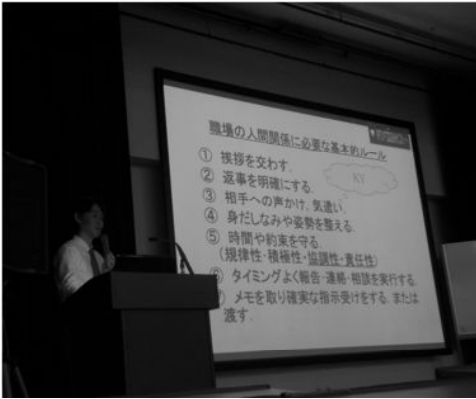
感染予防については、標準予防策の中の手指衛生方法や个人防护具の着脱等を詳しく説明していただきました。しかし根本的な問題点として、看護師等に比べてセラピストは感染について考えが甘いとおっしゃっていました。感染予防は患者様だけでなくセラピスト自身も感染から守る手段であり、これらは徹底して行っていかなければならないと強く感じました。



第3回研修会

中田美津穂（鹿島病院）

期日：平成25年4月28日（日）
テーマ：人間関係及び接遇（労働衛生含む）
講師：つくばセントラル病院 浅野信一先生
受講者数：196名（うち新入会員134名）



社会人に必要な基本的なルールとして「人間関係及び接遇」というテーマでご講演いただきました。挨拶を交わす、相手への声掛け・気遣い、時間や約束を守るといった当たり前の事が職場での人間関係に重要になってくると改めて気付かされました。また、患者様に安全な医療サービスを提供するためには理学療法士自身の安全衛生も大切であり、腰痛やストレス、職場の人間関係の悩みなど労働災害から身を守ることが医療の質に大きく影響してると感じました。さらに、理学療法士は人を相手にする対人援助職であるため、態度や身だしなみ、言葉遣いが患者様と関わる上で重要であると再確認させていただきました。今回勉強させて頂いたことを忘れず、今後患者様に介入する際にはより一層接遇面に気を付けていきたいと思っております。

第4回研修会

倉持直人（茨城西南医療センター病院）

期日：平成25年4月28日（日）
テーマ：協会組織と生涯学習システム
講師：会田記念リハビリテーション病院 倉持修先生
受講者数：175名（うち新入会員134名）

平成25年度第4回研修会は、「協会組織と生涯学習システム」というテーマのもと会田記念リハビリテーション病院の倉持修先生（茨城県理学療法士会学術・教育局長）にご講義頂きました。

日本理学療法士協会の沿革・組織についてや、生涯学習システムの基本理念、新人教育プログラムの概要、また新人教育プログラム修了後からの専門理学療法士研究会での学術活動についての説明をして頂き、生涯学習活動の流れを理解することができました。

システムの概要を知ることによって自らの将来設計が行いやすくなり、より明確な目標を持って日々の学習に取り組み、質の高い理学療法士を目指していきたいと感じました。



第5回研修会

倉持直人（茨城西南医療センター病院）

期日：平成25年4月28日（日）
テーマ：理学療法と倫理
講師：茨城西南医療センター病院 沼尻一哉先生
受講者数：162名（うち新入会員111名）

平成25年度第5回研修会は、「理学療法と倫理」というテーマのもと茨城西南医療センター病院の沼尻一哉先生にご講義頂きました。

職業倫理としての医療倫理や理学療法倫理、医療提供者としての医療倫理及び患者の権利を理解することができました。プロフェSSIONAL、また理学療法士として動いていく上で、患者様を主体として考え個人の人格を尊重していくことで、よりよい関係性を築くことができるのではないかと感じました。患者様にとって何が一番良いゴールとなるのかを、患者様と共に考えられる理学療法士になりたいと改めて思いました。



第6回研修会

城乃内元清（鹿島病院）

期日：平成25年4月28日（日）

テーマ：理学療法における関連法規（労働法含む）

講師：筑波メディカルセンター病院 大曾根賢一先生

受講者数：154名（うち親入会員113名）

『理学療法における関連法規（労働法含む）』とし、関連する法制度を理解し業務に当たる必要性を講義していただきました。

『理学療法士及び作業療法士法』では、理学療法の定義、理学療法士の業務及び名称使用と医師の指示の下で診療の補助を行うことができるなどが規定され、理学療法士の業務の法的根拠の法であるとのことですが、本法は昭和40年の公布より改訂が行われておらず、現在の私たち理学療法士が置かれている労働状況や、対象となる患者、理学療法の目的、チーム医療の重要性などを反映しておらず、その他の関連する法からその解釈を求める必要があるとのことでした。その他に、『医療法』や『介護保険法』についても業務を行っていくうえで、理解しておく必要があるとのことでした。

これらの法を遵守するとともに、医療事故に対する配慮が大切になると講義していただきました。医療事故を限りなく減らすには、リスクマネジメントとしてインシデントの原因分析とその対策を情報共有し、一人ひとりが危険予知能力を高めることが必要であるとのことでした。また、事故が発生したときには、それまでの患者様との関係やその後の対応によって、訴訟問題に発展するか否かが決まるとのことでしたので、真摯に対応することが求められるとのことでした。

関連法制度の理解をするとともに、患者様に対するリスクマネジメントを怠らず業務に当たり、患者様に真摯に対応していきたいと思います。



第7回研修会

小澤佑佳（いちほら病院）

期日：平成25年4月28日（日）

テーマ：生涯学習と理学療法の専門領域

講師：会田記念リハビリテーション病院 倉持修先生

受講者数：157名（うち新入会員107名）



つくば国際大学で開催されました平成25年度第7回研修会に参加しました。テーマは「生涯学習と理学療法の専門領域」についての講演でした。日本理学療法士協会に所属するにあたり生涯学習システムの流れを講義していただき、新人教育プログラム修了後に目指す認定理学療法士、専門理学療法士の各領域について学びました。私は中でも生活環境支援医学療法研究部会に興味を持ち、地域理学療法や健康増進、介護予防の研修に参加したいと思いました。生涯学習システムの流れを学んだ事でより自身の目標を立てやすくなると感じ、積極的に多くの研修会に参加したいと思いました。また、各領域

の研修会は他の病院、施設の方とも交流が持てる機会だと思えますし、同じ志を持つ方のお話が聞けるチャンスであると思いました。

理学療法士として入職して1ヶ月半が過ぎ、患者様やご家族様、多職種の方と接する機会が多くなり、少しずつではありますが視野が広がっているように感じます。臨床を通し、さらに自分の興味のある分野を見つけ、専門性の高い理学療法士を目指していきたいと思えます。

第48回日本理学療法学会大会印象記

橋本貴幸（土浦協同病院）

第48回日本理学療法学会大会は、愛知県の名古屋国際会議場で開催されました。私は、「足部内在屈筋筋力トレーニングによる運動パフォーマンスの効果について」スポーツ分野での口述発表と、骨・関節ポスター会場での座長を行わせていただきました。各会場では、聴講しやすだけでなく、活発な質疑応答が多くなされていたことが大変印象に残りました。ディスカッション、名刺交換、その後メールでの情報交換もでき、大変有意義な学会となりました。数年後には、各分野による学会開催へ変更されるようですので、また楽しみです。当院から参加した2名も感想をお願いしましたので、是非お読み下さい。

瀧原純（土浦協同病院）

今回、私は代謝分野のセレクション口述発表として「フットケア外来介入患者における足部関節可動域制限の検討」について発表させて頂きました。発表時間10分・質疑応答5分という時間が確保されており、その中で先行されているPTの方々からの質問や意見、それに対して自分がどのように解釈し答えるか、等々、全てが貴重で、今後の臨床と研究をより良いものにつなぐことができました。全国のPTが集まる学術集会で発表することの良さがわかり、次回以降も継続し研究発表をしていきたいです。

学会全体としては、専門分野だけではなく様々な分野を広く学び、最新の知見や研究に触れられるので、PTとしての幅を広げる機会にもなりました。4年ぶりに参加した学術集会でしたが、それぞれの発表での質疑応答は活発になっている印象があり（特に運動器疾患の口述やポスター発表は演題数も集まる人も多いと思いました）、様々な意見が聞かれていました。今後もこうした機会を利用してPTとして高められれば良いと思います。日中の学会参加に、夜の飲み会と濃い2-3日を過ごせ楽しかったです！

増井孝徳（土浦協同病院）

今回、私は開会式から参加し、各先生方の講演や演題発表を拝聴しました。大会長基調講演では「理学療法のグローバル・スタンダードストレッチの科学的検証ー」とあり、日々使用しているストレッチの基礎を簡便に学ぶことができました。大会長企画プログラムの「疼痛理学療法のグローバル・スタンダード」は慢性疼痛に対する多角的な見解を持つことができ、臨床に生かしていこうと思いました。今度参加する際は、発表の演者として参加したいです。



多田明紗美（つくばセントラル病院）

今回、第48回日本理学療法学会に参加し、当院回復期リハ病棟規定の棟内歩行自立判定基準用紙における日中と朝方の比較検討についてポスター発表をさせていただきました。

昨年度に引き続き発表させていただいたのですが、今年度はポスター前での3分間の口述発表が新たに加わりました。伝達したい内容をさらに口述で伝えられたこともあり、質疑応答等ではたくさんの意見交換を行うことができました。

他のセッションでも同様の歩行自立に向けた取り組みについての発表があったことや、ポスター発表後の意見交換をさせていただいたことで、多くの理学療法士が同じ悩みを抱え、それぞれ工夫し検証していることが分かり、自分自身も今後より患者さまに安心・安全にリハビリテーションを提供できるよう努力していきたいという活力を再認識することができました。

今後も、自己研鑽に励むとともに、学術活動等に積極的に参加し、たくさんの新しい知識やデータ等を吸収し業務に生かしていきたいと思います。



丹羽麻奈美（いちほら病院）

5月24～26日に名古屋国際会議場にて第48回日本理学療法学会が行われ、レセプション・表彰式に参加しました。前年度に発表した「回復期リハビリテーション病院で働く女性理学療法士を対象とした意識調査—女性理学療法士離職率改善に向けた取り組み—」が奨励賞を受賞しました。この研究発表は、茨城県内の女性理学療法士のみなさんにご協力いただき、回収率もとても高く、いい結果が得られたと思います。みなさんのご協力があったからこそ、この素晴らしい賞を頂くことができました。本当にありがとうございます。今後も女性理学療法士離職率改善に向けて取り組んでいきたいと思います。



3. 各部局からのお知らせ

<お知らせ>

今年度の茨城県理学療法士学会・茨城県総合リハケア学会学術集会の開催日が決定しました

- ・茨城県理学療法士学会：平成 26 年 2 月 9 日
- ・茨城県総合リハケア学会学術集会：平成 25 年 12 月 1 日

公益社団法人移行祝賀会

皆様ご存じの通り、平成 25 年 4 月 1 日より本会は「公益社団法人」へと移行いたしました。それに伴い、祝賀会を公益社団法人日本理学療法士協会会長半田一登氏出席のもと開催いたします。

日時：平成 25 年 7 月 20 日（土）11 時～13 時

会場：茨城県保健衛生会館 4 階 大研修室（茨城県水戸市緑町 3-5-35）

<渉外部より>

新入会賛助会員のお知らせ

企業名：株式会社 セキショウライフサポート

住 所：〒305-0051 つくば市二の宮 1-23-6

電 話：029-855-9166

F A X：029-855-5671

<庶務部より>

庶務部 高橋千晶（水戸済生会総合病院）

1. 異動状況（2013 年 4 月 1 日～2013 年 5 月 31 日入力）

会員数：1614 名（2013 年 5 月 31 日時点：連絡不能者 28 名）

会員情報で変更がありましたら、速やかに届出をお願いします。

また、施設情報の変更の場合にも同様に届出が必要となりますのでよろしくお願い致します。

日本理学療法士協会 Web のマイページから行うことを推奨します。

<<重要>>紙申請の廃止について

協会のシステム整備によって、各種申請が WEB から実施できるようになり、

全体の申請の 7 割が WEB から申請が行われている現状があります。

そこで、土会業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することが、

日本理学療法士協会理事会で承認されました。

詳細は以下の通りになります。

【廃止される紙申請の内訳】

入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請

【紙申請廃止日】

平成 25 年 12 月末日

【WEB 申請できない方への対応】

廃止日（平成 25 年 12 月）以降、WEB の環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、[日本理学療法士協会事務局](#)へご連絡いただき、協会から用紙を個別にお送りします。

2. 学術誌、学会誌の公開について

会員に情報公開として、関連団体より届いている学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーションを閲覧できるようになりました。

日時は限定されておりますが、ご利用ください。

公開資料	： 学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーション
公開時間	： 火・木（祝日除く）14:30～16:30
公開場所	： 茨城県理学療法士会水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号 茨城県保健衛生会館内

<2013年4月1日～2013年5月31日届いている学術誌・学会誌>
理学療法研究・長野 No41（長野県理学療法士会）

<地域医療福祉推進部より>

- 第65回 春季関東地区高校野球大会 茨城県大会への理学療法士派遣（4名）
準決勝 平成25年5月4日（土）水戸市民球場 古澤 弦 氏、吉澤 隆弘 氏
決勝 5月5日（日）水戸市民球場 中村 功 氏、古澤 弦 氏
- 「茨城県回復期リハビリテーション病棟の会」への協力事業
 - ・本会推薦世話人：森田 英隆 氏（継続）
 - ・平成25年度 第1回世話人会への出席
期 日：平成25年5月16日（木） 場 所：茨城県立医療大学付属病院
本会推薦世話人：森田 英隆 氏
- 第4回訪問リハビリテーション地域リーダー育成会議
期 日：平成25年5月16日（木）、17日（金）
派 遣：押野 泰史 氏、三浦 祐司 氏
- 「NPO法人茨城県訪問リハビリテーション協議会」への協力事業
 - ・本会推薦理事：押野 泰史 氏
- 「茨城における小児の発達を支える地域リハビリテーションを考える会」への協力事業
 - ・本会推薦世話人：石川 公久 氏（継続）
- 平成25年度 茨城県ケアマネジャー協会 介護支援専門員研修会への講師派遣
期 日：平成25年5月20日（月）・6月1日（土）
内 容：「訪問リハビリテーション」
対 象：介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ 更新研修（実務経験者）受講者
場 所：茨城県総合福祉会館
派 遣：所 圭吾 氏
- 茨城県立健康プラザ 「介護予防体操相談支援者」派遣会員推薦（4名）
派遣推薦会員：鈴木 和江 氏（新任）、所 圭吾 氏（継続）、藤田 義隆 氏（継続）、渡邊 勸 氏（継続）

茨城県看護協会「まちの保健室」との共同事業開催のお知らせ

茨城県看護協会「まちの保健室」と当会の介護予防キャラバンの共同事業も、年々活発に活動できてきております。この夏の共同事業は、下記の通り実施される予定です。昨年度より各地区会員様との協働で事業の運営を進めており、今回も水戸地区・大宮ひたちなか地区の会員の皆様のご協力を賜り実施いたします。より地域に根差した活動になりますよう、会員の皆様の更なるお力添えをいただければ幸いです。

- 日時：平成25年8月24日（土）13:30～16:30（予定）
場所：常陸大宮ショッピングセンター「ピサーロ」1F センターコート
内容：体力測定・リハビリ相談・健康相談・血圧測定・血管年齢測定・シルバーリハビリ体操等
- 日時：平成25年8月25日（日）13:30～16:30（予定）
場所：イオンモール水戸内原2F
内容：体力測定・リハビリ相談・健康相談・血圧測定・血管年齢測定等

〈公益事業推進部より〉

公益事業推進部長 村田康成（石岡循環器科脳神経外科病院）

「理学療法の日」作文コンクール事業に関するお礼と表彰式開催のお知らせ

この度の作品応募に関しては、会員の皆様のご協力、ご支援の甲斐あって多くの作品を募集することができました。心より感謝、御礼申し上げます。作品応募総数は148作品で、現在入賞者選定のための審査に入っております。

今後の予定としまして、下記日程で表彰式を開催致します。同日開催されます本会の公益社団法人移行祝賀会にお越しの際は、ぜひご参加いただき式典を盛り上げて頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

「理学療法の日」作文コンクール表彰式

日時：平成25年7月20日（土）10：00～

会場：茨城県保健衛生会館 2階

内容：会長挨拶、受賞者の紹介、賞状及び記念品授与、最優秀賞2名の読み上げ、記念撮影

平成25年「介護の日」作文コンクール

・趣旨

介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、地域社会における支え合いや交流を促進することを目的として設定された「介護の日」（11月11日）の趣旨を踏まえ、介護を必要とする人や介護の仕事をしている人だけでなく、県民誰もが介護について考えるきっかけとするため、作文コンクールを実施する。

・概要

1. 募集対象及び区分

茨城県在住または茨城県内に通勤・通学している中学生以上の方

2. 募集内容

自分がしている『介護』、我が家の『介護』、『介護』を通じて感じた喜び・楽しさ・苦勞・充実感、『介護』をしてくれた方への感謝の気持ちなど、『介護』という言葉・仕事・体験を通じて感じたり、思ったことを800字程度でまとめる。

3. 応募規定

ア 応募作品に次の事項を明記のうえ、郵便で応募先まで送付すること。

（記入事項）

題名、氏名（ふりがな）、年齢（在学中の場合は学校名および学年）、郵便番号、住所、電話番号、職業

イ 用紙は、所定の応募用紙（コピー可）の他、A4サイズの任意の用紙でも可。

ウ 応募点数は、1人1点とする。

エ 応募作品は、刊行物等に使用することがあるので、誤字脱字の修正、要約を行うことがある。

オ 募集期間

平成25年7月1日（月）～平成25年9月6日（金）（必着）

・審査及び副賞

1. 審査

主催者及び主催者が選定する審査委員により審査する。

2. 賞及び副賞

賞名	入賞者数等
茨城県知事賞	2名（賞状及び副賞）
茨城県議会議長賞	2名（賞状及び副賞）
茨城県老人福祉施設協議会長賞	2名（賞状及び副賞）
茨城県社会福祉協議会長賞	2名（賞状及び副賞）
茨城新聞社長賞	2名（賞状及び副賞）
茨城県理学療法士会長賞	2名（賞状及び副賞）

※ただし、各賞に該当する作品がない時は、該当なし又は各賞の定員に満たない数の入賞者で決定する。

• 発表及び表彰式

「介護の日」(11月11日)の趣旨を踏まえ、茨城県老人福祉施設協議会開催の介護の日関連行事の中で発表及び表彰式を行う。

- 結果を本人宛に通知する
- 表彰式(11月実施予定)において、入賞者に賞状と副賞を贈呈する。

• 作品の取り扱い

1. 応募作品は、返却しない。
2. 応募作品の著作権は、全て主催者に帰属する。
3. 入賞作品は、新聞、県ホームページ、リーフレット等に掲載すると共に、茨城県が行う介護保険推進事業に随時活用する。

• 応募先及び問い合わせ先

茨城県保健福祉部長寿福祉課介護保険室 市町村支援グループ 宛
〒310-8555 水戸市笠原町978-6
電話：029-301-3332

〈理学療法啓発部より〉

理学療法啓発部長 峯岸忍

理学療法・作業療法・言語聴覚療法見学会のお知らせ

今年度は8月19日～30日の予定で、高校生を対象に行う予定です。対象施設には既に予定を確認させて頂いており、調整中です。未来のPTの卵のためにもご協力お願い致します。

作文コンクール朗読番組報告

IBS茨城放送(AMラジオ局)にて、今年度の募集要項と昨年度の受賞作品の紹介を下記の日程で放送しました。

4月12日～5月10日 毎週金曜日 14:45～

「理学療法 未来へのメッセージ」

- | | | |
|-------|---------|------|
| 4月12日 | 中・高校生の部 | 最優秀賞 |
| 4月19日 | 中・高校生の部 | 優秀賞 |
| 4月26日 | 一般の部 | 最優秀賞 |
| 5月3日 | 一般の部 | 優秀賞 |
| 5月10日 | 一般の部 | 優秀賞 |

茨城県看護協会主催 高等学校進路指導説明会報告

6月3日(月)に茨城県看護協会大研修室(茨城県理学療法士会水戸事務所の同会館内です)にて高等学校の進路指導教員を対象に実施しました。

本会からは大曾根副会長が参加し、理学療法・理学療法士になるためについて講演いたしました。



＜平成25年度 第1回理事会 議事要旨＞

総務部長 大地寛（日立製作所日立総合病院）

日時：平成25年5月17日 16:00～19:30

会場：茨城県保健衛生会館 1階 本会事務所

出席者：斉藤秀之会長、大曾根賢一、沼尻一哉、金子哲副会長、大地寛常任理事、高橋晃弘、直井洋明、浅野信一理事、黒澤保壽、橋本英之監事、中山陽介財務部長、平田清次総務部次長、後藤吾郎総務部部員

欠席者：石塚保土理事

【議題】

1、会長：本会は4月1日に、社団法人（特例民法法人）から公益社団法人へ移行した。これを受けて7月20日に公益社団法人移行記念祝賀会、またこれに合わせて今年度作文コンクールの表彰式をいずれも茨城県保健衛生会館で挙げる。

会長マスタープラン2011の自己評価について、今期の重点項目として「学術・教育事業」が課題であることが示唆された。また、「学術・教育事業」の充実のためには、「事務局機能の強化」、すなわち事務所職員への業務（権限）移譲も必要と考える。このことは、その他の事業を含め「公益社団法人」として確固たる団体となるためには必要要件と考える。

茨城県地域支えあい事業の補助金は昨年度で終了になっている。今後も公的補助金について適宜受託したいと考えている。

茨城県臨床工学技師会から提案があり会長を含む一部役員との間で意見交換会の場を設けた。先方からは法人の運営を参考にしたいとの要望があり、本会からは学術交流を深めることを提案した。

今年度学会は来年2月9日、茨城県立医療大学で開催する。学会長は会長が務め、テーマを「2050年に向けて理学療法士がなすべきこと（仮）」とする。また来年度以降は、理学療法週間にあわせ7月に開催する方向で準備を進める。新人症例発表は地区ブロックへ移行、定例化し、学会は分科会形式を見据えてより学術性の高いものを目指したい。茨城県総合リハビリテーション・ケア学会は来年度本会担当だが、本会学会は別に開催するので役員ならびに会員の協力をお願いしたい。また当該学会のあり方については茨城県医師会とも今後検討していきたい。

学会・研修会参加費について、会員・会員外の参加者の間で差異をつけることは以前から検討しているが、本会の公益性を鑑み1：2以内の比率にする方向で調整する。

2. 総務部：総会・理事会等の回次について、総会・学会は通年、理事会・部会等は各年度毎、インフォメーション・ファックスニュース等の刊行物は通年（年度併記）とする。

3. 庶務部：本会では以前から独自の会員管理システムを使用してきたが、日本理学療法士協会が新たなシステムを開発したためそれが使用できなくなり、新たな名簿管理システムの開発が必要になっている。今年度は会員名簿が発行できるよう、志群システムズに開発を依頼する。

4. 財務部：今年度の役員報酬は、会長を20,000円、副会長を15,000円、常任理事を10,000円とする。

5. 就業支援部：今年度新規事業として、子育て世代の理学療法士に対する「子育て支援相談会（仮）」を9～10月頃、県南・県西地区でそれぞれ1回ずつ計画している。

6. 卒前教育部：臨床実習指導者研修会について、履修した会員が所属する施設名は公表する方向で検討したい。この研修会は認定制度ではなく、参加者名簿は個人情報でもあるので履修した個人の名前を公表するかどうかは慎重に議論を進める。

7. 地域医療福祉推進部：全国高等学校野球選手権大会茨城大会メディカルサポート派遣会員について、7名の会員を承認。大会への派遣とともに、人材育成のための研修会も開催する。

＜会長行動・事業等報告（5月17日～6月30日）＞

下記以外は所属施設にて従事

5月17日 第126回常任理事会・理事会・期末監査（事務所）

5月17日 第1回茨城県介護老人保健施設協会リハ専門委員会研修会/後援（県総合福祉会館）

5月19日 山口かずゆき先生 全国行脚「茨城ラウンド」同行（県内会員施設）

- 21日
- 5月23日 訪問リハビリテーションサポートセンター事業打合せ
(筑波記念病院、大曾根副会長他同席)
- 5月23日 茨城小児リハの会第1回事務局会/事務局長(筑波記念病院)
- 5月25日 第48回日本理学療法学会大会/神経学療法 特別セッション・シンポジスト(名古屋)
- 5月26日 第48回日本理学療法学会大会/ランチョンセミナー11・司会(名古屋)
- 5月28日 県厚生総務課来院(河野副参事・大賀主任・大上主事)
- 5月28日 北茨城地域自立支援センター事業打合わせ(北茨城地域自立支援センター)
- 6月4日 つくば市介護認定審査会/審査員(つくば市役所)
- 6月7日 協会第2回理事会・第3回理事懇談会/理事(田町CR)
- 6月8日 協会第42回定時総会/理事(ベルサール半蔵門)
- 6月9日 協会役員研修会/理事(田町CR)
- 6月10日 士会臨時二役会(筑波記念病院)
- 6月11日 士会記念式典広報検討会議(士会事務所、沼尻副会長・金子副会長・高橋広報局長)
- 6月11日 県厚生総務課訪問
- 6月12日 茨城訪問リハの会訪問リハ評価方法WG 定例会議(筑波メディカルセンター)
- 6月15日 第15回日本医療マネジメント学会学術総会/評議員会・口述&ポスターセッション座長
- 16日(岩手)
- 6月16日 平成25年度理学療法士会講習会基本編技術・関節可動域練習(つくば国際大学)
- 6月17日 茨城福祉医療センター開設準備室・根本OT 来院
- 6月17日 北茨城地域自立支援センター第1回運営管理会議(北茨城地域自立支援センター)
- 6月18日 つくば市障害者自立支援懇談会/座長(つくば市役所)
- 6月18日 つくば市介護認定審査会/審査員(つくば市役所)
- 6月19日 茨城小児リハの会第1回世話人会/事務局長(筑波記念病院、欠席)
- 6月19日 日本理学療法士協会学会・生涯学習機構引継会議/副会長(田町CR)
- 6月20日 日本医療マネジメント学会茨城県支部幹事会/幹事(マロウド筑波)
- 6月21日 第17回茨城県理学療法士学会開催打合せ(筑波記念病院、倉持部長)
- 6月22日 訪問リハビリテーションサポートセンター事業第3回説明会(筑波記念病院)
- 6月22日 士会生涯学習部長と会議(筑波記念病院、千葉生涯学習部長)
- 6月23日 茨城小児リハの会総会・研修会/事務局長(県立医療大学)
- 6月25日 訪問リハビリテーションサポートセンター事業第3回説明会(水戸事務所)
- 6月26日 つくば保健医療圏近郊小児リハネットワーク会議/司会(筑波記念病院)
- 6月27日 つくば市障害程度区分認定審査会/審査員(つくば市役所)
- 6月29日 山口かずゆき先生「茨城県総決起集会」参加(土浦市一中地区公民館)
- 6月29日 茨城県回復期リハビリテーション病棟の会総会・研修会/世話人副代表(県立医療大学)
- 6月30日 第8-11回新人教育プログラム研修会・第1回定期総会・新人リハビリテーション・新人歓迎会
(県立医療大学)

4. 士会・協会主催研修会

学会・研修会名	茨城県理学療法士会主催 専門領域研修会 内部障害 糖尿病と足病変-
日時（受付開始時間）	2013年8月25日（日）（受付開始9時～）
場所・会場	茨城県総合福祉会館コミュニティホール
内容	第一部でまず寺師先生から糖尿病足病変をみる上で必要な基礎知識についてお話を頂き、それを理解した上で神戸分類を通じた糖尿症足病変リスクに応じた治療戦略についてお話頂きます。第2部では内田先生から実際に糖尿病足病変患者さんに接する上で必要になる療養指導とフットケア外来での流れ、実施内容、理学療法士を含めたチーム連携についてお話頂きます。糖尿症足病変に関わる上で必要になる知識や療養指導行動を理解し、そこに携わる理学療法士の役割について知ることを目的としています。
講師名	寺師 浩人 先生(神戸大学形成外科 教授) 内田 みさ子 先生 (茨城県厚生農業協同組合 総合病院土浦協同病院)
プログラム（予定）	9:30～11:00 寺師 浩人 先生 11:10～12:40 内田 みさ子 先生
問合先	つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター 千葉浩市 (E-Mail: s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp)
ポイント認定	専門・認定に関わるポイント 10ポイント

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） スポーツ理学療法に必要な関節の解剖・運動学と代表的疾患の理学療法の展開
日時（受付開始時間）	2013年9月8日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県保健衛生会館
内容	スポーツ障害・外傷の上下肢、頸部・体幹の理学療法について、スポーツ理学療法に必要な関節の解剖・運動学と代表的疾患の理学療法評価とその展開を説明する。
講師名	竹村雅裕（筑波大学大学院スポーツ医学専攻）、田村耕一郎（廣瀬医院）、鈴木康文（つくば国際大学）、宮川俊平（筑波大学大学院スポーツ医学専攻）
受講費	2,000円
定員	100名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2013年4月1日～8月14日
申込方法	日本理学療法士協会HPマイページからの事前申し込みとなります。
問合先	つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター 千葉浩市 (E-Mail: ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp)
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 臨床に役立つ物理療法の基本的な考え方ー疼痛・関節可動域・神経筋機能障害・ 創傷を中心にー
日時（受付開始時間）	2013年11月3日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県保健衛生会館
内容	物理療法と疼痛基礎知識・関節可動域制限の基礎知識・創傷治癒基礎知識・神 経筋機能障害の基礎知識を学び、専門分野 物理療法を、理学療法士の知識とし て深める。
講師名	菅原仁(東京工科大学)、日比野至(名古屋学院大学) 田中直樹(筑波記念病院)、山口智史(慶應義塾大学大学院)
受講費	2,000円
定員	80名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2013年4月1日～10月20日
申込方法	日本理学療法士協会HPマイページからの事前申し込みとなります。
問合先	つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター 千葉浩市（E-Mail：ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

[平成25年度 第12回研修会]（決定版）

テーマ	B-4 症例報告・発表の仕方
日時	平成25年7月21日（日） 受付 9：30～ 研修会 10：00～11：00
講師	つくば国際大学 鈴木 康文 先生
参加費	2,000円 （茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります）
会場	協和中央病院
単位認定	<<新人教育プログラム>>：B-4 症例報告・発表の仕方 ＊ 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 ＊ 新入会員や会員証がお手元にはない方は受付用紙にご記入いただきます。

[平成25年度 第13回研修会] (決定版)

テーマ	D-1 社会の中の理学療法
日時	平成25年7月21日(日) 受付 9:30~ 研修会 11:10~12:10
講師	石岡循環器科脳神経外科病院 村田 康成 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります)
会場	協和中央病院
単位認定	<<新人教育プログラム>>: D-1 社会の中の理学療法 * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元ない方は受付用紙にご記入いただきます。

[平成25年度 第14回研修会] (決定版)

テーマ	E-2 ティーチングとコーチング
日時	平成25年7月21日(日) 受付 12:40~ 研修会 13:10~14:10
講師	つくば国際大学 福山 勝彦 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります)
会場	協和中央病院
単位認定	<<新人教育プログラム>>: E-2 ティーチングとコーチング * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元ない方は受付用紙にご記入いただきます。

- 今年度の新入会員には広報が行き届かないことも予想されます。施設内の新入職の方にもお声かけくださいますようお願い致します。
- 新人教育プログラム研修会は専門・認定に関わるポイントの認定はございません。予めご了承ください。
- 会場内での食事はご遠慮下さい。また、ゴミはお持ち帰りにご協力をお願いします。

[平成25年度 第15回研修会] (第1報)

テーマ	C-2 運動器疾患の理学療法
日時	平成25年9月8日(日) 受付 9:30~ 研修会 10:00~11:00
講師	土浦協同病院 橋本 貴幸 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります)
会場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	<<新人教育プログラム>>:C-2 運動器疾患の理学療法 * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元にはない方は受付用紙にご記入いただきます。

[平成25年度 第16回研修会] (第1報)

テーマ	C-3 内部障害の理学療法
日時	平成25年9月8日(日) 受付 9:30~ 研修会 11:10~12:10
講師	未定
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります)
会場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	<<新人教育プログラム>>:C-3 内部障害の理学療法 * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元にはない方は受付用紙にご記入いただきます。

[平成25年度 第17回研修会] (第1報)

テーマ	E-1 臨床実習指導方法論
日時	平成25年9月8日(日) 受付 12:40~ 研修会 13:10~14:10
講師	つくばセントラル病院 浅野 信一 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります)
会場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	<<新人教育プログラム>>: E-1 臨床実習指導方法論 * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元がない方は受付用紙にご記入いただきます。

[平成25年度 第18回研修会] (第1報)

テーマ	E-3 国際社会と理学療法
日時	平成25年9月8日(日) 受付 12:40~ 研修会 14:20~15:20
講師	アール医療福祉専門学校 ジャンチャンキュ 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000円となります)
会場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	<<新人教育プログラム>>: E-3 国際社会の理学療法 * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元がない方は受付用紙にご記入いただきます。

- 新人教育プログラム研修会は専門・認定に関わるポイントの認定はございません。予めご了承ください。
- 会場内にはレストランがありますが、会場周辺に食事をする場所が少ないため、混雑が予想されるため昼食をご持参下さい。
- 館内は飲食禁止です。

5. 各種研修会・イベント案内

訪問リハビリテーション管理者養成研修会

平成27年の介護保険改定により、訪問リハビリテーションが制度化された場合、その管理者要件として、PT・OT・STの3協会は本研修会全家庭の履修が修了していることとしています。今年度開催予定はSTEP1：2回、STEP2：1回、STEP3：1回となっており、開催頻度の都合上、管理者養成研修会の修了までにはおよそ2年程度かかります。次期介護保険改定である平成27年度までに全ての研修課程を修了するためには、計画的に履修する必要があります。今回のSTEP1の受講をお勧めします。

★STEP1 開催日程

第10回訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP1～東京会場～

日時：平成25年7月13日（土）～7月15日（月祝）

会場：日本青年館ホテル 3階 国際ホール（東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号）

第11回訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP1～大阪会場～

日時：平成25年9月14日（土）～9月16日（月祝）

会場：CIMI北梅田研修センター 5階 ホール

（大阪市北区芝田2丁目7番18号 オーエックス梅田ビル新館5階）

※STEP2・3、その他詳細は以下URLをご参照ください

合同会社 gene（ジーン） www.gene-llc.jp

第10回茨城リウマチケア研究会のご案内（第一報）

本研究会はリウマチのケア普及のため、医師や看護師、理学療法士、作業療法士などのコメディカルが集い、そのリウマチのリハビリテーション普及推進および、リウマチの治療とケアに従事する者の学術と技術の向上を図ることを目的としております。本会の趣旨をご理解頂き、積極的なご参加をお願い申し上げます。

茨城リウマチケア研究会

顧問 筑波大学医学医療系 内科（膠原病・リウマチ・アレルギー） 住田孝之

当番世話人 筑波大学医学医療系 整形外科 三島 初

日時：平成25年7月5日（金） 19：00～21：00

場所：つくば国際会議場 4階 中会議室406

つくば市竹園2-20-3 TEL：029-861-0001

参加費：1,000円

■ 一般演題（19:00～20:00）

4～5演題発表予定

■ 特別講演（20:00～21:00）

「関節リウマチに対する手術療法と術前後のケア」

国立病院機構 相模原病院 手術部長 森俊仁 先生

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」

*当日、軽食をご用意いたします。

*日本整形外科学会専門医継続申請単位申請中、日本リウマチ財団教育研修会単位申請中

共催：茨城リウマチケア研究会、エーザイ株式会社

後援：（公社）茨城県理学療法士会、（一社）茨城県作業療法士会

平成 25 年度第 2 回茨城県介護老人保健施設協会
リハビリテーション専門委員会研修会

期日：平成 25 年 7 月 19 日（金）

会場：茨城県総合福祉会館 4F 中研修室

〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 電話：029-244-4545

内容：『再発事故ゼロを目指した施設内安全管理』

講師：鈴木悠史先生（医療法人東湖会 鉾田病院 言語聴覚士）

18:30～19:00 開場・受付

19:00～20:30 講義・質疑応答

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」

お問合せ：TEL 0297-61-5133 FAX 0297-61-5136

専用HP <http://form1.fc2.com/form/?id=763131>

担当 介護老人保健施設けやきの郷 理学療法士 石井靖久

申込期限：2013 年 7 月 12 日（金）

第 29 回日本義肢装具学会研修セミナーご案内

1. テーマ：『スポーツ傷害と装具療法』

2. 日 時：平成 25 年 8 月 3 日（土）、4 日（日）

3. 会 場：つくば国際会議場 多目的ホール（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

4. プログラム：

8月3日（土）		
12:30～	受付	
13:00～13:10	開会挨拶	
13:10～14:00	スポーツ傷害総論	宮川俊平 先生（筑波大学大学院人間総合科学研究科）
14:10～15:00	足部のスポーツ傷害と装具療法	石井朝夫 先生（東京医科大学茨城医療センター）
15:00～15:50	膝関節のスポーツ傷害と装具療法	渡辺 新 先生（茨城西南医療センター）
16:00～16:50	上肢の傷害と装具療法	西浦康正 先生（筑波大学整形外科）
17:00～17:50	スポーツ傷害に対する装具	光永康司 先生（鶴田整形外科）
8月4日（日）		
8:30～	受付	
9:00～9:50	体幹の傷害と装具療法	塚西敏則 先生（筑波大学整形外科）
10:00～10:50	スポーツ傷害のリハビリテーション	松田直樹 先生（国立スポーツ科学センター）
11:00～11:50	スポーツ傷害に対する装具	磯野知子 先生（株幸和義肢研究所）
11:50～12:20	メカプレゼンテーション	
12:20	閉会挨拶	

5. 参加費：会員 12,000 円 非会員 15,000 円 学生 6,000 円

6. 定 員：150 名

7. 申込み切：平成 25 年 6 月 29 日（土）（定員になり次第、締め切らせていただきます）

8. 申込方法：必要事項を下記のメールアドレスにお送りください。申込は PC メールのみとさせていただきます。10 日以内に申込者の e-mail アドレスに申込受付のご案内をいたします。

①氏名②所属③所属先住所④電話番号⑤e-mail アドレス（携帯メール不可）⑥職種

⑦日本義肢装具学会会員・非会員・学生（ただし有資格者の大学院生は学生に含まない）

9. 本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」

【問い合わせ先】第 29 回日本義肢装具学会研修セミナー事務局

株幸和義肢研究所 出井裕司 E-mail：ybsjg179@ybb.ne.jp

第 84 回日立地域リハビリ懇話会開催のご案内（速報）

日立地域リハビリ懇話会代表世話人 佐藤弘行

（株式会社日立製作所茨城病院センターリハビリテーション管理グループリーダー）

日立市および周辺地域のリハビリテーション関連職種の研鑽、親睦を目的とした本懇話会も、お蔭様で第 84 回目を迎えることとなりました。これも偏に、関係各位のご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

今回は、医療安全の見地から「リハビリテーションにおける感染対策」（仮題）と題し、（株）日立製作所日立総合病院医療安全・品質センター主任で感染対策担当の看護師である影山美代子先生をお迎えし、ご講演をしていただくこととなりました。

暑さの厳しい季節とはなりますが、多くの関係職種の方々のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

日 時 2013年8月6日（火）18:00～19:00

（従来と異なる第1火曜日となりますのでご注意ください。）

場 所 （株）日立製作所日立総合病院 A棟5階 B会議室

（不明な場合は受付にてお尋ね下さい。）

テーマ 「リハビリテーションにおける感染対策」（仮題）

講 師 （株）日立製作所日立総合病院 医療安全・品質センター

主任／感染対策担当／看護師 影山 美代子 先生

参加費 無料

その他 震災・工事等による「立入禁止区域」が数箇所存在しますのでご注意ください。

駐車場は病院山側の「鳩ヶ丘駐車場」を使用して下さい。

（無料駐車の手続き等は当院リハスタッフが対応致します。）

【お問い合わせ先】

（株）日立製作所日立総合病院リハビリテーション科 科長 佐藤 弘行（理学療法士）

〒317-0077 茨城県日立市城南町2-1-1

TEL & FAX 0294-23-8453（日製内線857-3249）

PHS 070-6998-9099（日製内線857-6298）

E-mail hiroyuki.sato.by@hitachi.com

第 54 回 つくば地域リハ・セミナー「第 17 回症例検討会」

開催期日：平成 25 年 8 月 18 日（日） 8:30～18:00

会 場：筑波記念病院

新人教育プログラムの認定単位：

参加者： B-4 症例報告・発表の仕方

発表者のみ： C-6 症例発表

第 55 回 つくば地域リハ・セミナー「第 18 回症例検討会」

開催期日：平成 26 年 3 月 9 日（日）

会 場：筑波記念病院

新人教育プログラムの認定単位：

参加者： B-4 症例報告・発表の仕方

発表者のみ： C-6 症例発表

平成 25 年度 水戸保健医療圏

地域リハビリテーション従事者研修会のご案内および演題募集について

テーマ：事例検討会

日時：平成 25 年 8 月 31 日（土） 14 時～17 時 ※終了後懇親会を予定しております。

場所：水高スクエア内 水戸メディカルカレッジ

参加費：無料（懇親会 参加費未定）

内容：①事例検討会

*単位履修について

理学療法士：発表者のみ新人教育プログラム「C-6 症例発表」の取得が可能

作業療法士：発表・参加者共に生涯教育基礎コース2ポイントの取得が可能（生涯教育手帳をご持参下さい）

演題応募方法：事例検討を中心に演題を募集します。（事例検討以外でも可能です。）

発表は口述のみ。（発表7分・質疑応答5～7分、PCを使用したスライド発表。）

8月9日（金）までに下記申し込み・問合せ先までご連絡下さい。〈FAX・E-mail可〉

参加申し込み方法：8月23日（金）までに、①又は②の方法でお申し込み下さい。

①FAX：参加申込書にご記入の上、下記までFAXして下さい。

②Eメール：施設名・参加者氏名・職種・懇親会参加の有無を、下記アドレスまで送信して下さい。

【お問い合わせ先】

北水会記念病院 リハビリテーション科 PT 小西功人 OT 黒澤尚樹 ST 本多淑恵

〒310-0035 水戸市東原3-2-1 TEL：029-303-3003 FAX：029-303-3004

E-mail：rehabilitaion@hokusuikai-kinen.jp

演題募集要項

1. 受け付ける演題

事例検討を中心に募集します。（事例検討以外でも可能です。）

2. 応募資格

リハビリテーション従事者ならどなたでも構いません。

3. 発表形式

発表形式は口述のみ。時間は発表7分・質疑応答5～7分です。

プレゼンテーションはパワーポイント10枚以内でお願いします。

4. 演題登録方法

別紙「演題登録申請書」に必要事項を記入の上、8月9日（金）までに下記受付までFAXして下さい。

（メールでの演題登録を希望される方は、「演題登録申請書」を添付しますのでご連絡下さい。）

5. 演題受領通知

登録完了後、演者連絡先E-mailアドレスまたはTELにてお知らせします。

6. 抄録作成方法

A4用紙1枚（余白を上35mm、下・左・右30mm設けて下さい。）

Wordにて作成して下さい。図表、写真の使用はご遠慮下さい。

なお、文章の体裁を主催者で整える場合がありますので予めご了承下さい。

〈表題について〉

演題名：1行目にMS明朝体12ポイントを使用し記載して下さい。

氏名：3～6行目にMS明朝体10.5ポイントを使用し記載して下さい。

発表者を先頭に記載して下さい。

所属ならびに職種：氏名の後に（）を使用し記載して下さい。

〈本文について〉

7行目以降に800～1,200字以内で、MS明朝体10.5ポイントを使用し記載して下さい。

〈提出について〉

8月23日（金）必着

下記受付先までメールの送信（添付資料形式）又はメディアの郵送にて提出して下さい。

7. 演題発表通知

演題採否決定後、演者連絡先E-mailアドレスまたはTELにてお知らせします。

8. 発表用電子媒体（パワーポイント）の提出

8月26日（月）必着

下記受付先までメールの送信（添付資料形式）又はメディアの郵送にて提出して下さい。

*締切日までに提出がない場合、研修会当日に正常作動しないことがありますのでご注意下さい。

9. その他

演題の採否、発表時間などについては主催者に一任して下さい。

<演題・抄録受付及び問合せ先>

北水会記念病院 リハビリテーション科 PT 小西功人 OT 黒澤尚樹 ST 本多淑恵
〒310-0035 水戸市東原 3-2-1 TEL: 029-303-3003 FAX: 029-303-3004
E-mail: rehabilitaion@hokusuikai-kinen.jp

※参加申込書・演題登録申請書等、詳しくは茨城県理学療法士会 HP をご参照ください
<http://www.pt-ibaraki.jp/>

第9回全国高齢者ケア研究会 in 茨城

期日：2013年8月31日～9月1日

1日目 8月31日(土) 時間 13時00分～18時00分 場所 県民文化センター

これからの地域包括ケア 激変の2025年の高齢者介護

～医療連携、住民参画、ケアマネジメント、重度化対策～

開会挨拶

13:10～13:40 講演：住民参加型地域包括ケアとは何か？

13:45～14:55 シンポジウム：地域包括ケア最前線1

15:05～15:45 講演：地域包括ケアにおける医療連携と住民参画

15:45～16:55 シンポジウム：地域包括ケア最前線2

17:05～17:45 対談：地域包括ケアの課題 2025年の高齢者介護のビジョン

閉会挨拶

2日目 9月1日(日) 時間 10時00分～16時30分 場所 県民文化センター

ユニットケアから20年 高齢者ケアの第2の革命「トータルケア」

開会挨拶

10:00～10:50 講演：ユニットケア先進施設が開発！

11:00～12:00 シンポジウム：重度化した個別ケアにあってはならない

13:00～13:50 実践発表+シンポジウム：入院者が減りケアが飛躍的にアップする

14:00～15:00 実践発表+シンポジウム：先進施設はここがちがう！

15:10～15:30 特別講義1：排泄ケアの基本は食事ケア

15:30～15:50 特別講義2：住民参加型地域包括ケア

15:50～16:30 実践発表+シンポジウム：トータルケアの可能性

閉会挨拶

茨城PNF勉強会のご案内

国際PNF協会(IPNFA)認定PNFセラピストが代表を務める勉強会です。その会でのメインテーマをもとにPNF基本原理やパターン・テクニックなどを用いて治療手技の検討を行なっていきます。興味のある先生方・学生さんは、まずは下記連絡先までお問い合わせ下さい。皆さまのご参加をお待ちしています。

日程・会場：日曜 10:00～16:00

県南：東京医科大学茨城医療センター、茨城県立医療大学

県央：水戸中央病院、水戸メディカルカレッジ

定員：各30名程度(申込者多数の場合、人数制限をさせて頂く場合がございます)

参加費：正会員費2000円/年 会員1000円/回 非会員1500円/回 学生無料

申し込み連絡先：勉強会終了日翌日より次回の勉強会の参加受付を行ないます。

氏名(フリガナ)、所属(勤務先・〒・勤務先住所・電話番号)、資格と経験年数(年目)をご記入の上、下記までメールにてご連絡ください(電話も可)

事務局受付：東京医科大学茨城医療センターリハビリテーション部内

茨城PNF勉強会事務局 立元・神林

E-mail: jimukyoku@ibarakipnf.com TEL:029-887-1161(代) FAX:029-887-1381

住所：茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1 HP: <http://www.ibarakipnf.com/>

※テーマ別の日程等詳しくはHPをご参照ください。

第40回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等教育講習会

開催地（会場）及び開催期間：

1. 東京地区

開催期間 平成26年1月14日（火）～2月7日（金）

会場 以下の3会場（講習日により異なる）

- ・公益社団法人日本理学療法士協会田町会議室（東京都港区芝浦3-5-39）
- ・専門学校社会医学技術学院（東京都小金井市中町2-22-32）
- ・日本リハビリテーション専門学校（東京都豊島区高田3-6-18）

2. 大阪地区

開催期間 平成25年11月11日（月）～12月6日（金）

会場 行岡保健衛生学園 大阪行岡医療大学（大阪府茨木市総持寺1-1-41）

受講対象者：次のいずれにも該当する者とする。

1. 理学療法士又は作業療法士又は言語聴覚士の免許を有する者
2. 免許所得後、原則として教員は5年以上、臨床指導者は3年以上（言語聴覚士は5年以上）の実務経験を有する者
3. 本講習会終了後において理学療法士又は作業療法士若しくは言語聴覚士の養成施設の教員等に従事する者及び将来従事しようとする者

受講申込：

受講申込みは、受講希望者の所属する施設長が行うものとする。申込みを行う施設は、申込期限までに必要書類を（公財）医療研修推進財団に送付すること。

必要書類：受講者調書（別紙様式）…2部

施設長の推薦状（任意様式）…1部

受講者履歴書（写真不要）…1部

返信用封筒（長形3号、90円切手貼付）

書類送付先：（公財）医療研修推進財団PT・OT・ST事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル4階

TEL 03(3501)6592

申込期限：平成25年8月5日（月）消印有効

（留意事項）

- ・過去に本講習会を受講した職員がいない施設にあっては、申込みに際しその旨を付記すること。
- ・一つの施設が、同地区かつ同職種の講習会に2名以上申し込む場合は、優先順位を付記すること。
- ・受講者決定後の取消し等は原則認めないので、勤務割等につき十分調整の上申し込むこと。
- ・やむを得ず取り消す場合は、施設長の理由書を添えて書類送付先に申し出ること。
- ・国立ハンセン病療養所に所属する職員にあっては厚生労働省医政局国立病院課を経由して厚生労働省医政局医事課あて申し込むものとする。

講習会終了の認定：

厚生労働省は、（公財）医療研修推進財団と連名で講習会修了者に対して修了証書を交付する。

講習科目：講習科目（時間数）

教育原理（6）、教育方法論（21）、教育方法論Ⅱ（12）、教育方法実習（6）、教育方法実習セミナー（6）、教育心理（12）、教育評価（21）、PTOTST専門教育水準（3）、管理倫理（9）、研究法・統計学（12）、指導者論（6）、行動科学（6）、リハビリテーションチーム（3）、医療論（3）
特別講義（9）
合計（132）

経費：

1. 講習会開催に要する費用は開催者側の負担とする。
2. 受講の為に要する費用（教材費の一部（40000円）、宿泊費、食費、交通費等）は受講者の負担とする

その他：

1. 原則として講習の欠席は認められないので、留意すること。
2. 宿泊については、各自で手配すること。

※詳細は、茨城県理学療法士会 HP をご参照ください <http://www.pt-ibaraki.jp/>

6. 求人広告

理学療法士急募！

大野の郷は、常に未来志向で地域福祉施設の在り方を考えております。

建物は環境に配慮し、全国で4番目の木造耐火・耐震構造、ユニット型個室で部屋面積は約8畳あります。部屋には洗面施設やトイレもついており、食事は鹿嶋産のおいしい有機米を使っております。

市民高齢者の皆様だけが入居できる「地域密着型特別養護老人ホーム」や「お泊」^{とまり}「通い」^{ひょうちん}「訪問」を自分の都合で毎日選択できる「小規模多機能型居宅介護支援事業所」も来年4月には開設し、市民のどなたにも頼られる施設運営を目指しております。

デイサービスでは、リハビリができる環境を整え「理学療法士」を配置し、他の施設との違い・棲み分けを進めてきました。

今回、理学療法士が緊急に退職したため利用者の皆様があっかりしております。鹿嶋の地で共に介護事業を考えてくれる「理学療法士」を急募しております。

理学療法士

265,000円以上（例①経験5年で期末手当含年収400万円以上）

（例②経験10年で期末手当含年収480万円以上）

電話 0299-78-7881（担当 大野の郷江河・鈴木）

急募！！ 茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター ボランティア募集

茨城県理学療法士会 社会・職能局長 沼尻一哉

今後在宅での療養者が増加することが予測されており、自立した生活を支援する訪問リハビリテーションサービスの必要性が望まれています。他の居宅サービスと比べて事業所は圧倒的に少なく、地域格差も大であります。また様々な在宅でのリハニーズに対する相談機能も現状では十分とは言えません。そのため、復興区域法における北茨城市での訪問リハビリテーションステーションの実現に向けて北茨城市、北茨城市立総合病院のご理解のもと、北茨城市立総合病院敷地内に「茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター」を開設し、平日午後理学療法士が1名専従で常駐しています。

これは、日本理学療法士協会が提唱している「地域自立支援センター」のモデル事業として最初の展開にもなります。まずは、北茨城市の住民や関係機関が共同利用できる、①関連会議への参加、センターでの相談・調整活動、②関係施設に出向いての健康支援・介護・障害予防活動、③協力病院と協力して家屋に出向く訪問リハビリテーションなどを主な活動と考えています。

このような取り組みを成功するためには、専従理学療法士のみでは対応が難しくなることは予測できます。北茨城でのモデルを県内全市町村で実現するためにも、リハ関連3団体の会員の力を今こそ結集して頂きたいと思っています。

現在、北茨城市内を活動拠点に鋭意準備を進めておりますが、十分な人手がありません。そこで、ボランティアとして活動して頂ける方を募集いたしますので、当会水戸事務所までご連絡ください。

実施期間は平成25年度で、申し込み締め切りは平成25年8月31日（金）とします。応募頂いた際には、ご説明をさせていただきますが、原則として1日及び半日単位のボランティアをお願いする予定です。多くの方のご応募をお待ちしております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

<お問い合わせ・申し込み>

社団法人茨城県理学療法士会 水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35

茨城県保健衛生会館 1階 TEL:029-353-8474 FAX:029-353-8475

会員管理・異動に関するお問い合わせは…

⇒水戸済生会総合病院 リハビリテーション科 高橋 千晶
kkanri@pt-ibaraki.jp

会費に関するお問い合わせは…

⇒茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 中山 陽介
kaihi08@pt-ibaraki.jp

新人教育プログラムに関するお問い合わせは…

⇒つくばセントラル病院 リハビリテーション部 千葉 浩市
s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp

広報紙に関するお問い合わせは…

⇒いちほら病院 リハビリテーション部 森田 英隆
kouhou@pt-ibaraki.jp

編集後記

新年度となり3カ月が経ちました。各職場では、新入職員が職場の雰囲気慣れ、今後の活躍を期待されている頃かと思えます。

先日『思考の整理学』（外山滋比古著、筑摩書房）という本を読み返しました。考える事の楽しさと魅力をわかりやすく紹介している本です。本書では、学ぶ姿勢をグライダーと飛行機に例えています。受け身の姿勢をグライダーとし、進取の気性をエンジン付きの飛行機として表現していました。

学び方の有り様を早くに知っていることは社会人としてとても大切だと感じました。新入職員に限らず私達もどうあるべきなのかを考えながら理学療法士として臨床に臨みたいものです。

（会報編集部）

会員数：1614名

発行日：平成25年6月30日

発行人：公益社団法人 茨城県理学療法士会

代表者：齊藤 秀之

編集者：森田 英隆

事務局：〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号

茨城県保健衛生会館内

茨城県理学療法士会事務所

TEL 029-353-8474

FAX 029-353-8475

E-mail toiwases@pt-ibaraki.jp

